

## 平成 22 年度事業計画

日本における ITS の研究開発及びその実用化は、世界でも最も進んだものとなっており、世界各国からもその動向には大いに関心が寄せられている。

この中、2013 年には東京において 3 度目の ITS 世界会議が開催されることになっており、22 年度以降は、この世界会議に向けてのより意欲的な取り組みが求められている。

このような状況下において平成 22 年度は、

実用化段階に入った路車協調による安全運転支援システム(DSSS レベルⅡ)のさらなる高度化に向けた実証実験を計画するほか、環境対策のためのプロープ情報の活用に向けた実証実験を実施すること

最近の情報通信技術の高度化を基に UTMS の将来を指向した新たなシステムの検討開始

UTMS セミナー2010 では、研究開発成果の発表及び内外講師による講演を組み、会員の技術研讃に寄与する

平成 22 年度も DSSS の普及促進等を目的に展示試乗会の実施を検討するほか、機会をとらえて広報活動を積極的に展開すること

などを中心に事業を進めることとしている。

### 1 新交通管理システムに関する調査、研究及び開発並びにその成果の普及

(1) 光ビーコン等の双方向通信機能を活用した新交通管理システムの高度化と要素技術の開発

ア UTMS の新しい技術開発に資する研究開発の実施

イ 高度交通管制システム関連分野の研究開発

ウ 交通情報提供システム関連分野の研究開発

エ プロープ情報を活用した環境対策システム関連分野の研究

オ 車両運行管理システム関連分野の研究開発

カ 安全運転支援システム関連分野の研究開発

キ 新交通信号制御システムに関する研究開発

(2) UTMS の発展に資する研究開発

ア UTMS の将来構想に関する調査研究

イ UTMS の費用対効果に関する調査研究

(3) 運転免許証 IC カードの互換性に関する調査研究

### 2 新交通管理システムに関する国内外における標準化の推進

(1) 標準規格委員会によるシステム及び機器の標準化に関する提言及び規格委員会による規格等の制定

(2) 国際標準化会議等への参画と提案

ア 国際標準化機構 (ISO) の標準化審議への参画と提案

イ 国際電気標準会議 (IEC) 及び国際照明委員会 (CIE) への参画と提案

### 3 新交通管理システムに関する知的所有権の保有及び管理

- (1) 知的所有権の保有・管理
- (2) 知的所有権に関する諸契約の締結及び管理

### 4 新交通管理システムに関連する関係機関及び団体等との交流並びに情報交換

- (1) 国内の関係機関及び団体との交流並びに情報交換
- (2) 国外の関係機関及び団体との交流並びに情報交換

ア ITS 世界会議釜山 2010 への参加と研究発表・展示

(ア) 会期等

場所： 韓国 釜山市

時期： 2010 年 10 月 25 日(月)～29 日(金)

(イ) 出典概要

場所： 第 18 回世界会議併設展示場

時期： 2010 年 10 月 25 日(月)～29 日(金)

(ウ) 論文等発表予定

SIS 2 件, TS 2 件

イ 米国交通輸送調査委員会 (TRB) への参加

ウ ITS アメリカへの参加と情報収集

エ その他

### 5 協会の目的達成のために必要な広報等の事業

- (1) UTMS セミナー2010 の開催

場所：国連大学ウタント会議場

時期：2010 年 9 月 30 日(木)13:00～17:30

- (2) UTMS 展示会及び DSSS 試乗会の開催

- (3) 本協会の活動に資する刊行物等の発行及び広報資料の配布

ア UTMS 機関誌の発行

イ UTMS ニュースの発行

ウ ホームページのアップデート

エ UTMS 関係リーフレット等の作成配布